

## 〔国際会議〕

申請者	立命館大学 理工学部 電子情報工学科 教授 富山 宏之	2025008
研究集会名	アジア南太平洋設計自動化会議 2013 (ASP-DAC2013)	
開催期間	平成 25 年 1 月 22 日～25 年 1 月 25 日	
開催場所	パシフィコ横浜 会議センター	
申請者の役割	Finance Chair	

## 概要：

ASP-DAC (Asia and South Pacific Design Automation Conference) は、大規模集積回路 (Very Large Scale Integrated Circuit, VLSI) と電子システムの設計自動化をテーマとするアジア・南太平洋地区最大の国際会議であり、VLSI の物理設計、論理・機能設計、テスト、電子システムの仕様記述から、組込みシステムのためのプロセッサやそのソフトウェアの設計に至る種々の技術を対象としています。1995 年の第 1 回開催から今回で 18 回目を迎えました。

ASP-DAC は米国の DAC (Design Automation Conference)、ICCAD (International Conference on Computer Aided Design)、欧州の DATE (Design Automation and Test in Europe) の姉妹会議として国際的にも認知度の高い国際会議であり、今回の会議には日本を含む 19 カ国から 462 名 (国内 287 名、海外 175 名) の研究者が出席し、活発な議論が行われました。

国内外より 311 件の一般投稿論文がありその中から 97 件を採択 (採択率 31.2%) し、設計開発者・研究者が最新の研究成果について発表を行いました。

アジア・南太平洋地区からは日本を除いて 91 名の参加者があり、本会議の趣旨の一つでもあるアジア・南太平洋地区における VLSI 設計と自動化分野の研究活性化に貢献できたものと考えております。